第１２６回城山地区まちづくり会議全体会結果

日　時：令和８年９月２４日（木）
　　午後７時～午後９時１０分
会　場：城山総合事務所本館２階Ｂ会議室
出席者：２３名（欠席２名）
傍聴者：２名

１　開　　会　中島所長

２　代表あいさつ　林代表

３　行政等からの連絡事項

（１）（仮称）城山中央公園の整備概要について

公園課の職員より資料に基づき説明がされた。

＜　主な質問等　＞　○委員からの質問等　　●公園課からの回答

○資料の中に木製階段設置とあるが、手すりは設置しないのか。

●今のところ設置する予定はない。今後の公園整備の中で、様々な意見を聞きながら、整備内容を決めていくことになる。

（２）湖月荘跡地の活用について

公園課の職員より資料に基づき説明がされた。

＜　主な質問等　＞　○委員からの質問等　　●公園課からの回答

○今月の地元調整というのは、このまちづくり会議も地元調整に入っているのか。また、中沢自治会とは話をしているのか。

●このまちづくり会議も地元調整の１つである。中沢自治会とは既に話をしている。

○令和９年度から事業者選定、事業開始とあるが、これは令和９年度中に実行できるものなのか。

●民間事業者がどのような事業の提案をするかによって変わってくる。

○当初予算の編成について、このスケジュールで十分な予算要求ができるのか。

●基本的には市が民間事業者に土地を貸して整備をするイメージなので、市が新たに事業費を工面して執行するものではない。ただ、草刈り等の維持管理については現在も市の予算で行っており、来年も予算を確保する予定。

○サウンディング調査で個別ヒアリングする民間事業者について、市場調査をする事業者なのか、この場で事業を実施したいと考える事業者なのか。

●この場で事業の実施を希望している事業者である。

○今年度の１月から３月にある地元調整というのは、どういったことをするのか。

●地域の方の要望も踏まえながら、出てきた提案を市の方で整理し、公募の内容の素案を作り、中沢自治会、まちづくり会議で説明する予定である。

●地域の方のご意見は、地域の活性化に繋がる、賑わいを生み出すような使い方をしてほしいというものもあれば、逆に、今は静かな場所なので静かなままにしてほしいというものもある。そういった声があるということを民間事業者に伝えて、提案をしてほしいと考えている。

○選考委員会メンバーに地元関係者の参加を想定と書いてあるが、どういったメンバーを想定しているのか。

●事業内容によって変わってくるが、たとえば観光に関係する事業であれば観光に詳しい方に入っていただくなど、事業内容に精通している方にメンバーとして参加していただきたいと考えている。

○この場所は眺めも良く､素晴らしい立地なので､ぜひ有効活用してほしい。

○制約に試掘調査という記載があるが、費用はどこが負担するのか。

●基本的には、法律で整備事業者が費用を負担して調査を行うことになっている。つまり事業者にとってはこの部分がハードルになることが想定されるので、事前にしっかり伝えた上で検討していただくことになる。

○交通のアクセスが心配である｡車でのアクセスが現実的になると思うので、周辺を含めて考えていく必要がある。

●道路幅が狭い状況もあるので、たくさんの車が往来することになる場合も想定し、地元と調整をする必要がある。

４　議　　題

（１）令和８年度城山地区まちづくりを考える懇談会について

事務局より資料に基づき説明がされた。

ア 実施要領等について

・開催日　令和８年１０月３０日（金）　午後６時から

・会　場　城山総合事務所本館２階Ｂ会議室

イ テーマと内容について

これまでにまちづくり会議で出た意見を踏まえ、役員会において資料のとおりテーマと内容を決定したことについて説明し、承認された。

ウ 流れと役割分担（案）について

懇談会当日の流れと役割分担（案）について事務局より説明し、次のとお

り決定した。

・流れについて、資料６－１、６－２のとおり承諾を得た。

・役割分担について、次のとおり決定した。

司会進行	小島　副代表	
懇談の進行	林　代表	
テーマの概要・内容に係る説明	髙野　副代表	10 分程度
地域の考えていること、取組状況に係る説明	① 金子　委員 ② 小島　副代表 ③ 宗田　委員	
閉会宣言	髙野　副代表	

・資料９（出席者名簿）、資料１０（座席表）について各自確認をした。
なお、まちづくり会議の委員に加え、自治会から５名の自治会長に出席してもらうこととした。

＜　主な意見　＞

・テーマシートの地域トピックスについて、１１月１日「福祉のつどい」を追加しておいてほしい。

≪　結果　≫

・上記意見を踏まえ修正し、令和８年度城山地区まちづくりを考える懇談会のテーマと内容を決定した。

（２）地域の居場所づくりについて

各グループ（グループＡ、グループＢ）に分かれ、「地域の居場所づくり」についてグループ討議による検討を行った。また、グループ討議の前に、まちづくり会議の役割や今後のあるべき姿について協議が行われた。

≪　主な意見　≫

【全体】

・まちづくり会議が何をやっているのか、地域住民は知らないと思う。アピールが必要だし、もっと地域のニーズを拾い上げるべきだと思う。

・地域の小さなニーズに応えていくことから始めても良いと思う。

・川尻小ＰＴＡから話を聞いたところ、運動会の際にＰＴＡとしての仕事をやらなければならず、自分の子どもや友達の演目等を見ることができない状況があるとのことであった。こういう課題を１つ１つ解決していくとい

う姿勢が、まちづくり会議には必要ではないかと思う。そういう実践を繰り返すことで、まちづくり会議の認知度も上がっていくし、この会議が地域に頼られる存在になっていければいいと思う。
・運動会は来年以降も継続していくものだし、川尻小だけでなく他にも学校はあるので、この活動が継続的なものになれば良いと思う。
・学校側としては、年間の計画を立てる際、この日に何人の人員配置が必要であり、どの団体から何人のお手伝いをお願いするか、といった細かな調整をするので、来年以降も人員を確保できるという保証がないと、継続は難しいと思う。
・まちづくり会議から城山地区小・中学校の学習環境のあり方検討協議会へ委員が選出されている。あの協議会には城山地区の各学校のＰＴＡメンバーも参加しているので、声をかけてまちづくり会議に来ていただいて、ＰＴＡのニーズを把握するのも１つの手だと思う。
・１つ１つのニーズに応えることは大事だが、担い手不足の問題があり、まちづくり会議としてどこまでニーズに対応できるのか、継続性、実現可能性も考えていかなければならない。
・まちづくり会議委員だけでは継続性が確保できないので、周りの人にも声をかけて、実働できる人を増やしていく活動が必要である。

【グループＡ】
・アンケートを取りニーズを確認するとなると、地域活性化事業交付金を活用して実施することとなるので、今年度中に実施内容を固めて必要な予算を積算する必要がある。
・アンケートを取る対象、居場所づくりのターゲットを決めないと予算も決められないと思う。
・市のホームページを使わせてもらえれば、ネット上でアンケートに回答してもらえばいいと思う。ただ回答者の層には偏りが出ると思うので、そのデータの扱い方を考える必要がある。
・城山地区の各学校のＰＴＡメンバーに先にアンケートを取って、その結果を受けてまた別の層をターゲットにしてアンケートを取るのか、考えればいいと思う。
・子どもの居場所、高齢者の居場所など、それぞれの分野で居場所を運営している団体があるので、そういう人たちにニーズを聞いてみるのも良いと思う。団体によって聞く内容を変えてもいいと思う。
・地域のニーズとして、地域の居場所づくりを検討してきたが、先程の全体の会議の中ではニーズに対して１つ１つ応えていくべきだという意見があった。居場所づくりの話を進めるのではなく、まずは広い意味でのニーズ

を把握すべきなのか、根本から考え直すことも選択肢の１つであると思う。
・運動会のお手伝いをまちづくり会議の委員がやるのは良いことだと思うが、それを継続性を持たせて実施するのは難しい。実働部隊になってしまうとそれがメインの活動になってしまうので、課題の解決に向けた方法を考えることがこの会議の役割だと思う。
・まずはＰＴＡメンバーにどのような質問を投げかけてニーズを把握するべきか、次回のグループ検討会議まで各々で内容を考えてきてほしい。

【グループＢ】
別紙のとおり

（３）その他

髙野副代表より、１１月２９日（日）に湘南小学校で開催される出前公民館（モルック大会）についての説明があった。湘南小学校最後の年になるので、城山地区の人たちの思い出になるようなイベントにしたいとのことで、城山地区全域に声がけをする予定。主催は城山公民館だが、協力団体として城山地区自治会連合会、法政大学ＳＩＣ、城山地区まちづくり会議に参画していただいているので、ぜひご協力をお願いしたい、との話があった。

５　閉　　会　髙野副代表

以　上

別紙

Ｂグループ　　９/２４記録

◎前回の第１回目のグループ協議の最後のまとめとして、
「11/29（日）の湘南小モルックからスタートしよう」とあったので、それを受けて、
今回のグループ協議では、主に
「湘南小ラストイヤーぼくも、わたしも、わしらも、モルック感謝祭」の内容と役割分担について協議を行うこととしました。

〇OB グループのメンバーの皆さんには当日、役割を担当していただけるとありがたい。
〇８：００集合し、校庭と体育館の準備を開始。すでに決まっている役割り等について依頼。（８：００以降でも OK）
〇ルールやチームづくりについて簡単に説明。
〇地域情報紙１０/１号に掲載する内容について説明。タウンニュースと神奈川新聞で記事掲載予定。

☆湘南小を会場に城山地区の大人や子どもが集い、モルックを通して世代間交流を図る。
そこから、「何を今後の居場所づくりに繋げていくか」を考える必要がある。

①居場所づくりの課題として
〇周知の難しさが挙げられている
＊11/29 の周知方法⇒手厚い広報活動の効果が出ない場合、原因を考える必要がある
・自治会回覧　・児童へチラシ配付　・掲示板にチラシ掲示
・インスグラム掲載　・地域情報紙への記事掲載　・直接話す
・９月の公民館報へお知らせ掲載　・タウンページに告知掲載
＊湘南小と広田小の児童、保護者、地域の方々についてはできるだけ多くの参加がほしい。
・直接会って話すことの効果・学校でも、先生方から児童への声かけ
＊ライフホーム城山（体験会）
・各学校に入っている「スクリレ」にお知らせの掲載依頼をする
児童へのチラシ配付について　１０月中下旬にチラシ完成　その後配付
・湘南小の児童へは、招待状（法政大学学生が作成）を届ける
②湘南小では　10/2 稲刈り　運動会では OB による鼓笛隊（あるかも？）
＊実行委員会が閉校に向かって動いている
*児童はまだ先のこととして、実感があまりないような雰囲気
③役割分担
参加が確定した状況ではないので、当日に役割り分担したり、手の足りないところは声を掛け合ったりして作業を進めていけるとよい。

第126回城山地区まちづくり会議出欠席者名簿

任期：令和8年4月27日～令和10年4月26日

番号	分野	団体名	役職等	委員氏名	出欠
1	地域関係	城山地区自治会連合会（会長）	代表	ハヤシ カズヒロ 林　和博	出席
2		城山地区自治会連合会（副会長）		ナカノ ヒデト 中野　秀人	出席
3		城山地区自治会連合会（副会長）		カンドウ ハジメ 神藤　元	出席
4		城山地区自治会連合会（川尻小学校区）		イノウエ トシユキ 井上　敏幸	出席
5		城山地区自治会連合会（湘南小学校区）		ナカザト ミギユキ 中里　右幸	出席
6		城山地区自治会連合会（広陵小学校区）		ワタナベ マサシゲ 渡辺　政茂	出席
7		城山地区自治会連合会（広田小学校区）		シブヤ タカシ 渋谷　隆	出席
8	保健・福祉関係	城山地区社会福祉協議会	副代表	コジマ モリオ 小島　盛生	出席
9		城山地区民生委員児童委員協議会		オオツカ ヒロヤス 大塚　洋保	出席
10		城山地区シニアクラブ連合会		アベ コウゾウ 阿部　晃三	出席
11		相模原市赤十字奉仕団城山分団		ソウダ マリコ 宗田　眞理子	出席
12		城山地域包括支援センター		ハヤシタ カシ 林　多加史	出席
13	産業・経済関係	城山商工会		ウサミ トオル 宇佐美　徹	出席
14		城山観光協会		サクライ 櫻井　かおる	出席
15	防犯・防災関係	安全・安心まちづくり推進協議会城山支部		スギモト ナオヒロ 杉本　直宏	欠席
16		相模原市消防団北方面隊		ノグチ トシノリ 野口　敏徳	出席
17	教育関係	城山公民館運営協議会	副代表	タカノ アサエ 髙野　朝枝	出席
18		PTA連絡協議会城山ブロック協議会		ヤシマ キヨタカ 八島　清貴	出席
19		城山体育振興協議会		ヒグチ タモツ 樋口　保	出席
20		城山地区小中学校長情報連絡会		イシナガ イズル 石長　出	欠席
21		神奈川県立相模原城山高等学校		ヒグチ カズタカ 樋口　一孝	出席
22		法政大学　ソーシャル・イノベーションセンター		モトノ ナオコ 本野　直子	出席
23	有識者			カネコ ナオミ 金子　直美	出席
24				カタクラ リエ 片倉　理恵	出席
25				キクチ ヨウタ 菊地　庸太	出席

出席者数　23人

欠席者数　2人

第１２６回城山地区まちづくり会議　全体会次第

日　時　令和８年９月２４日（木）
　　午後７時
会　場　城山総合事務所本館
　　２階Ｂ会議室

１　開　　会

２　代表あいさつ

３　行政等からの連絡事項

（１）（仮称）城山中央公園の整備概要について　・・・資料１

（２）湖月荘跡地の活用について　・・・資料２

４　議　　題

（１）令和８年度城山地区まちづくりを考える懇談会について

ア　実施要領等について　・・・資料３・４
　開催日　令和８年１０月３０日（金）　午後６時００分から
　会　場　城山総合事務所本館２階Ｂ会議室

イ　テーマと内容について　・・・資料５

ウ　流れと役割分担（案）について　・・・資料６～８

（２）地域の居場所づくりについて　・・・資料９・１０

（３）その他

４　閉　　会

＜次回の予定＞

第１２７回全体会	１１月２６日（木）午後７時	城山総合事務所 本館２階Ｂ会議室

（仮称）城山中央公園整備概要（令和８年度案）

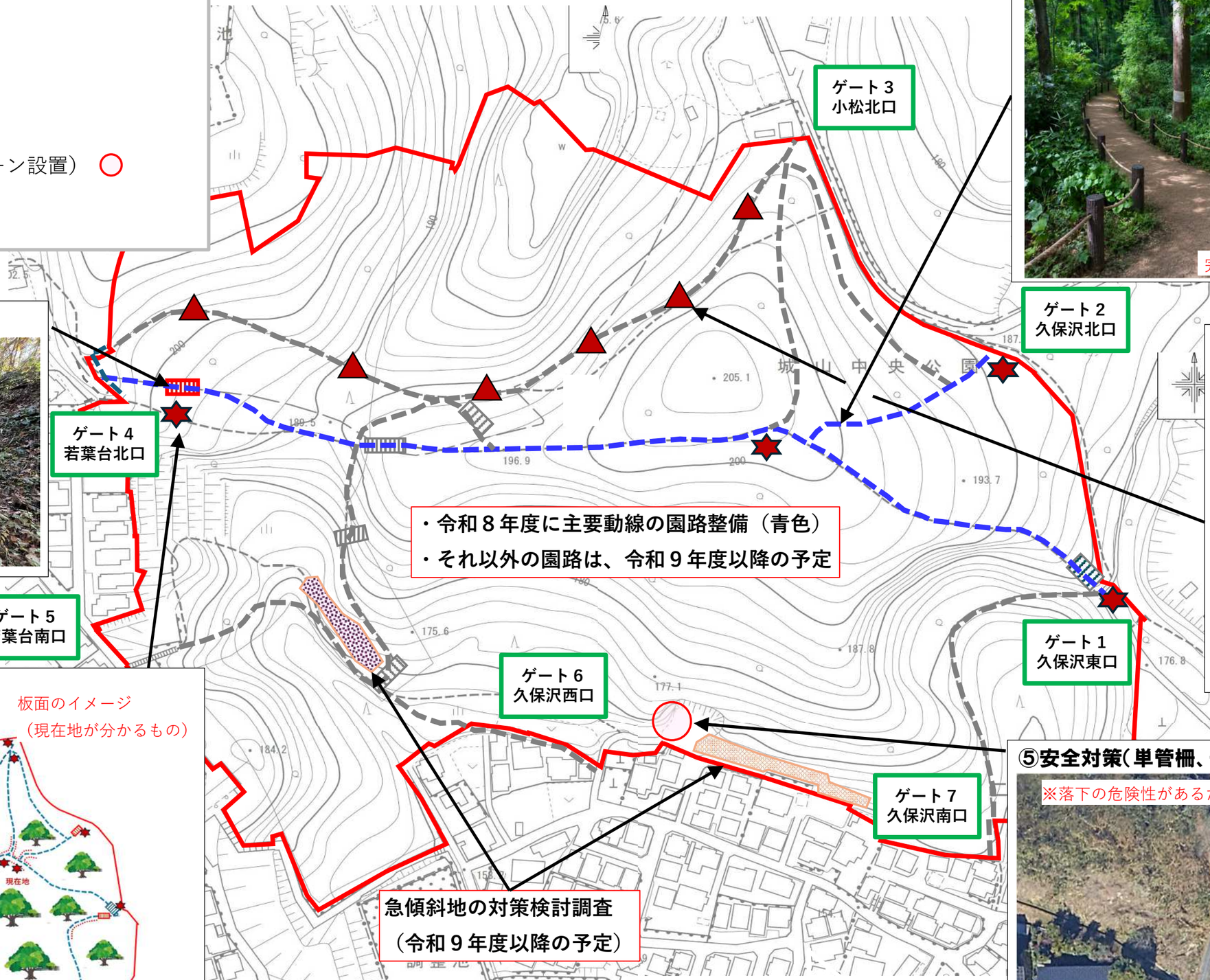
令和８年９月２４日　城山地区まちづくり会議（全体会）
相模原市　公園課

資料１

令和８年度整備の内容（案）

①園路整備（擬木、ロープ柵設置）
②木製階段設置
③公園案内看板設置
④立入禁止看板設置
⑤安全対策（単管柵、チェーン設置）
※既存園路（未整備）

計画平面図（整備イメージ）



①園路整備（擬木、ロープ柵を設置）



②木製階段設置



③公園案内看板設置

城山中央公園　案内図

板面のイメージ
（現在地が分かるもの）



④立入禁止看板 板面のイメージ



※池側（北側）への立入りを禁止

⑤安全対策（単管柵、チェーン設置）



湖月荘跡地の活用について

令和８年９月２４日　城山地区まちづくり会議（全体会）
相模原市　公園課

資料２

湖月荘跡地の概要

○基本情報
- 所在地　：緑区中沢708番1ほか
- 土地面積：約13,000㎡
- 区域区分：市街化調整区域
- 建ぺい率：50%
- 容積率　：100%
- その他　：埋蔵文化財包蔵地

○経過
- S47　神奈川県が老人保養所として「湖月荘」を設置
- H18　老朽化により閉所
- H19　神奈川県から合併後の相模原市へ跡地が譲渡
- その後、様々な跡地活用を検討するも具体的な活用方針定まらず

※なお、近年は太陽光発電設備の設置を中心に検討しておりましたが、課題があるため見送りとしました。





今後の取組内容

○活用にあたっての制約
- 市街化調整区域のため、活用の用途は限られる
- 埋蔵文化財包蔵地のため、工事内容によっては、試掘調査や本調査が必要となり、費用や調査期間が発生

○活用の方向性
- 津久井城址や県立公園に近接するという立地特性を生かし、市民や来訪者が憩える場としても活用を検討する
- 住宅地に隣接しているという立地特性に配慮する
- 地域住民が活用できる観点からも検討する

↓

サウンディング型市場調査を実施

↓

結果を踏まえ今後の活用案を検討

※サウンディング型市場調査とは、庁内検討では把握することが難しい市場性の有無や民間のアイデア等を把握するため、民間事業者に個別ヒアリングするもの

スケジュール

R８年度

- ９月　地元調整
- １０～１２月　サウンディング調査
  - ・民間活用の可能性について広く対話
- １月～３月　庁内調整
- １月～３月　地元調整
  - ・新たな活用案について
  - ・公募条件について

R９年度～

- 事業者選定（プロポーザル）
  - ・選考委員会メンバーに地元関係者の参加を想定
- 事業開始

資料３

令和８年度　地区まちづくりを考える懇談会　実施要領

１　目的

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有をしながら、地域の特性や地域資源を生かしたまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進する。

２　本年度の開催方針等

各地区まちづくり会議が市長と地区のまちづくりについて考える「対話」の場を希望した場合に実施する。

また、名称を『地区まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」』として実施する。

３　開催単位

実施希望地区のみ年１回１会場までとする。

４　実施方法

各地区まちづくり会議と市の協働により実施する。

５　開催日等

実施日及び会場は、まちづくり会議と市との調整により決定する。

開始時間は一律午後６時からとする。

（まちづくり会議側からの希望がある場合は、昼間の実施も可能とする。）

６　進行等

懇談会の進行等はまちづくり会議の代表者等が行い、実施時間は概ね１時間３０分とする。

７　出席者

（１）地区の出席者は、まちづくり会議の委員とする。なお、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるものとする。

（２）市側の出席者は、市長、テーマ担当副市長、区長、テーマに関連する局長（市長公室長含む。）及び事務局長とする。ただし、区長は副区長が、局長は部長級が代わることができ、部長級が設置されていない局については、局長が指定する所属長が代わることができ、事務局長は次長又は指定する職員が代わることができるものとする。また、まちづくり会議事務局の職員、テーマに関連する部署の課長及び職員も出席できるものとする。

※市長の公務日程等で対応できない場合がある。

８　懇談の内容

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する（二つ以内）。

【テーマの考え方】

ア　現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

イ　今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

９　傍聴

当日受付とし、地区以外の住民も傍聴可能する。ただし、会場の都合により、座席数には限りがあるため、希望者が多い場合には抽選により、傍聴者を決定する場合がある。

１０　周知方法

市ホームページ及び地域情報紙にて周知を行う。

資料４

令和８年度　地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろう with 市長」全体の進行

（司会進行：まちづくり会議副代表等）

■開会

１　懇談会開会の宣言（まちづくり会議副代表等）

２　出席者の紹介

３　まちづくり会議代表あいさつ

４　市長あいさつ

■懇談開始

※懇談の視点：「地域でできること」、「市がやるべきこと」、「協働でできること」とは何かという視点から「対話」による懇談を進める

５　テーマの概要及び地域での取組状況等の説明

（まちづくり会議から、パワーポイント、資料等を用いての説明も可）：５分程度

６　テーマに関連する区や市の取組み等について説明

（区長・局長・部長）：５分程度

７　テーマについて懇談：４０分程度

・一通り懇談が終わったら、進行役のまちづくり会議代表より、地区でできること、市がやるべきこと、協働の視点など、まとめを含めあいさつを行う。

（全体の感想、今後の地域の取組の方向など、懇談会のまとめを行う。）

■懇談終了

８　市長感想（全体の感想、地域への支援、今後の市の取組みの方向など）

９　懇談会閉会の宣言（まちづくり会議副代表等）

資料５－１

城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろう with 市長」テーマ

■地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する（二つ以内）。
□①　現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。
■②　今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

■テーマの概要・内容

テーマ	「今ある活動から広げる、地域の居場所づくりに係る人材の確保と育成」について
概　要	私たちは昨年度から、「子育て世代と地域が交流できる場」や、「学童保育の対象外となる小学校 4 年生から中学生の子どもたちが、安心・安全に放課後を過ごせる居場所」の創出を目指し、活動を続けている。これまで地域の各種団体と連携を重ね、地域で協力して取り組めることの確認や、抱えている課題の洗い出しを進めてきた。その中で特に深刻な問題として浮かび上がったのが、少子高齢化による担い手の減少や、現役世代の時間的負担、そして役割の固定化である。これらが原因となり、町内会や PTA などの運営を維持することが難しくなっている現状が浮き彫りになった。 今回は、これら地域の課題解決に向けた取り組みの一環として、私たちが考える「居場所づくりに係る人材の確保と育成」について提案する。その実現に向けて、皆様と率直な意見を交わす懇談の機会を設けたいと考えている。 《主な懇談内容》 (1)地域が出来る取り組み（人材の確保・育成） (2)行政と協働して出来る取り組み (3)地域人材を活用した具体的な事業展開 (4)行政が地域に求める協働事業
担当部署	市民協働推進課

■上記テーマに関する地区の取組状況等

取組状況	○城山地区まちづくり会議の主な取り組み ◇高齢者とともに築き支える地域づくり部会 ・おせっかい風土をひろめよう ◇子どもたちの主体性を育む地域づくり部会 ・モルック体験会及び大会の実施 ◇「和い輪い田名」の視察 ○公民館、民児協、自治会など主な取り組み ◇公民館の活用 ・公民館の中庭などを開放し来館者が交流できるスペースを拡大した。 ◇民児協が主体となり公民館でサロンを実施 ・子育てサロンマシュマロクラブ ◇地域の交流の場 ・YY（わいわい）わかば ・久保沢ふれあいカフェ ・若葉ほっこりーな ・原宿なごまーる

■地域トピックス（既存の関連資料等がある場合にはご恵与ください。）

地区の課題（テーマ以外にある場合）、アピールしたい点、工夫している点、良いところ、現在取り組んでいる活動など、市長があいさつで触れるべきこと、または触れてもらいたいこと。
○城山夏まつりや城山もみじまつりなどの様々なイベントがコロナ渦以前の規模で盛大に開催され、地域に賑わいが戻ってきている。 ・津久井湖さくらまつり（水の苑地）…（３月２８日） ・みんなの津久井湖夏祭り……（８月１１日） ・城山夏まつり……（８月２２日～２３日） ・城山もみじまつり……（１０月１１日） ・城山地区市民文化祭……（１０月３１日～１１月１日予定） ・城フェス……（１１月１日予定） ・つくい湖湖上祭……（１１月１５日予定）など ○城山 e-bike 体験モニターツアー（１０月２４日実施予定）など、自転車を活かしたイベントも開催され、本市が進めているサイクルツーリズムを通じた観光振興や地域活性化を推進している。

資料５－２

【参考】懇談内容に係る委員からの発言（たたき台）

（１）地域が出来る取り組み（人材の確保・育成）

・地区の特色として小学校から高等学校までが揃い、近隣には大学も位置している。
これまで、地域・学校・生徒が一体となり、事業（モルック）を実施した実績がある。

⇒　本地域は、区域内に小学校から高等学校までが揃い、近隣に大学も位置することから、情報共有や連携を円滑に行える恵まれた環境にある。この特色を活かし、大学生が事業に主体的に参画して中高生をはじめとする多様な若者層を巻き込むことは、次世代の成長と地域コミュニティの活性化に直結する。

これまでも地域・学校・生徒が一体となり、様々な事業（モルックなど）を推進してきた。今後は、これまでに培った地域の学校連携ネットワークを基盤に、多様な人材のさらなる活用と育成を図るため、新たな協働の枠組みを構築したい。

（２）行政と協働して出来る取り組み

・まちづくり会議が地域ネットワークのハブとなり、既存の事業や行政との連携を促す。

⇒当会議には、城山地区小中学校長情報連絡会、神奈川県立相模原城山高等学校、法政大学ソーシャル・イノベーションセンター、並びにPTA連絡協議会城山ブロック協議会等教育関係者の代表者が一堂に会している。この強力なネットワークをハブ（中核）として機能させ、新たな事業の創出につなげていく。具体的には、各学校やPTA等を通じて保護者や子どもたちの意見にも耳を傾け、行政のニーズと地域資源を的確に結びつけることで、双方の需要が合致する事業を展開していきたいと考えている。そのための人材確保においては、すでに実績のある地域の学校連携ネットワークを基盤とする。その上で、運営に携わる大学生や中高生の主体的な参画を地域主導で促進し、地域社会が次世代を育む「自律的な循環モデル」の構築を目指す。

一方で、公的施設の開放や、安全管理、財政的支援においては密接な連携が不可欠である。地域が現場の運営を担い、行政が仕組みづくりや安全確保の面で後方支援を行う「官民協働」の体制を確立することで、持続可能かつ安心な居場所づくりが実現すると考えている。

（３）地域人材を活用した具体的な事業展開

・今ある地域の居場所を有効活用し、地域や関係機関が協働して新たな事業を展開する。

⇒公共施設などをタイムシェア形式で利用できる仕組みを整え、その運営人材を地域内で確保する。例えば、現在、児童館は「午前中は未就学児の親子、午後は小学生の居場所」として機能している。この優れた拠点をさらに有効活用するため、夕方以降の時間帯を中高生の新たな居場所として開放する。さらに、この運営に中高生自身や大学生が主体的に参画する流れをつくることができれば、次世代の成長を促すだけでなく、地域コミュニティの活性化にも大きく寄与すると考える。

（４）行政が地域に求める協働事業

・行政が地域に求める人材や育成に係る協同事業について意見を伺いたい。

※意見を聞く

資料６－１

令和8年度 城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろう with 市長」次第

と き　令和8年10月30日（金）
　　午後6時00分から
ところ　城山総合事務所本館2階
　　B会議室
司　会　小島副代表

1 開　会

2 出席者紹介

3 城山地区まちづくり会議代表あいさつ

4 市長あいさつ

5 懇　談【懇談進行／林代表】

テーマ『今ある活動から広げる、地域の居場所づくりに係る人材の確保と育成』

－　懇談の主な流れ（目安）　－

①地域から市へ説明《テーマに係る内容や取り組みについて》
②市から地域へ説明《地域からの説明を受け、市から意見や説明》
③双方の説明を踏まえ意見交換《テーマに基づく自由な意見交換》
④代表より全体の感想
⑤市長より全体の感想

－懇談終了－

6 閉　会

資料６－２

城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろうwith市長」司会進行台本（案）

日時　令和８年１０月３０日(金)
午後６時００分から
場所　城山総合事務所本館２階
Ｂ会議室

１ 開 会

１８：００　【時間配分：５分間】

司会／小島副代表

皆さん、こんばんは。

夜分、お疲れのところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます

「城山地区まちづくり会議副代表の小島」でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただ今から　城山地区　まちづくりを考える懇談会

「地域の未来を語ろうwith市長」を開会いたします。

２ 出席者紹介

司会／小島副代表

はじめに、本日出席しています、城山地区まちづくり会議の委員と

自治会長については、お手もとの席次のとおりとなります。

時間の都合上、自己紹介は省略させていただきますので、

よろしくお願いいたします。

次に、ご出席をいただいております

市の皆さま方のご紹介をさせていただきます。

「本村（もとむら）　　市長」　　です。
「萱野（かやの）　副市長」　　です。
「椎橋（しいはし）　緑区長」　　です。
「井上（いのうえ）　市民局長」　です。
「西村（にしむら）　緑区副区長」です。

その他に、城山まちづくりセンター、市民協働推進課

からも職員の出席をいただいております。

≪職員が起立しますので、ここで少し待つ≫

以上が市の出席者の皆さま方です。よろしくお願いいたします。

3 城山地区まちづくり会議代表あいさつ

１８：０５　【時間配分：５分間】

司会／小島副代表

それでは、出席委員を代表いたしまして、

「　城山地区まちづくり会議の　林　代表　」より、

ごあいさつを申し上げます。

―　林　代表あいさつ　―

ありがとうございました。

４ 市長あいさつ

１８：１０　【時間配分：５分間】

司会／小島副代表

続きまして、「　本村　市長　」からごあいさつをいただきたいと存じます。

―　本村市長　あいさつ　―

ありがとうございました。

１８：１５　【時間配分：１分間】

司会／小島副代表

それでは、懇談に入らせていただきたいと思いますが、

以後の進行につきましては、

「　城山地区まちづくり会議の　林　代表　」にお願いしたいと思います。

「　林　代表　」、よろしくお願いいたします。

５ 懇 談【懇談進行／林代表】

１８：１６　【時間配分：３分間】

林　代表（懇談進行）

それでは、私の方で懇談の進行をさせていただきます。

本日の懇談会を有意義なものにするため、皆さま方のご協力をいただきたいと

考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の懇談の進め方についてご説明申し上げます。

はじめに、まちづくり会議からテーマについて、概要や地区の取組状況などを含めて、１０分程度でご説明をお願いします。

次に、市の方より地域からの説明について、意見や助言、地域に求めることなど１０分程度でご説明をしていただきます。

そのあと、双方の説明を踏まえながらテーマについて、双方で意見交換をしてまいりたいと考えております。

懇談会の終了は、１９時３０分頃を目途としたいと考えております。

【傍聴者がいる場合】

また、傍聴者の皆様にお知らせいたします。

まちづくり会議の委員など、あらかじめ決められた出席者以外の
ご発言はできませんので、ご静聴くださるようよろしくお願いいたします。

１８：１９　【時間配分：１分間】

林　代表（懇談進行）

それでは、テーマ「地域の居場所づくり」に基づいた懇談を行いたいと思います。

まちづくり会議では、「地域でできること」、「地域と市が協働でできること」など、地域の住民や団体が主体となってできることを考え、その上で、地域だけでは解決が難しいことについて、市に具体的な支援を求めるなど、居場所づくりの実現に向けた取り組みをはじめたところである。なお、今回の懇談会では一方的に行政に対して要望を伝え、その回答を得ることが目的ではなく、今後の取り組みにあたり、居場所づくりの実現に向けた具体的な提案や具体的な行動計画を作成するために市からの意見やビジョン（先行事例）などを示してもらいながら、地域と行政が一体となりどのような取り組みができるかについて、より建設的な対話を行いたいと思いますのでよろしくお願いします。

１８：２０　【時間配分：１０分間】

林　代表（懇談進行）

ー 地域から各委員が「概要及び考えていること」について説明する。 ー

はじめに、テーマに係る概要について

髙野　副代表　お願いします。

ー　概要：テーマ『今ある活動から広げる、地域の居場所づくりに係る人材の確保と育成』について説明する。ー

次に、地域が考えていることとして３項目ありますので、順次説明をお願いします。

『①地域が出来る取り組み（人材の確保・育成)』について

金子　委員　お願いします。

ー　地域の考えていることについて説明する。（以下②～③同様）　ー

続きまして、

『②行政と協働して出来る取り組み』について

小島　委員　お願いします。

最後に、

『③地域人材を活用した具体的な事業展開』について

宗田　委員　お願いします。

１８：３０　【時間配分：１０分間】

林　代表（懇談進行）

委員の皆様、ありがとうございました。

只今、地域の取り組み状況や考えていることについて説明がありました。

それらを踏まえ、市の意見やビジョン（先行事例など）、又は行政が地域に求める協働事業など、地域に要望することなどがあれば、お願いいたします。

―　区や市からの発言　―

１８：４０　【時間配分：３０分間】

林　代表（懇談進行）

市の皆様、ありがとうございました。

これより、双方の説明を踏まえ、テーマについて意見交換を行いたいと思います。

委員さんでご意見等ある方は、挙手をお願いします。

なお、発言の前には、団体名とお名前をおっしゃっていただきます。

※発言者には挙手をしていただき、　林　代表が指名してください。

※その後は適宜ほかの委員や市長など市の職員に発言を促してください。

※時間になったら終了。

たくさんのご意見、ありがとうございました。

１９：１０　【時間配分：１０分間】

林　代表（懇談進行）

お話は尽きないようですが、時間の関係がございますので、

このあたりで懇談を終了させていただきます。

―　林　代表　―

（全体の感想、今後の地域の取組の方向など、懇談会のまとめを行う。）

皆さまのご協力に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

進行を司会者の小島副代表にお戻しいたします。

※　進行を司会者に戻す　※

１９：２０　【時間配分：１０分間】

司会／小島副代表

閉会にあたりまして

「　本村　市長」より、本日の懇談会のご感想をいただきたいと存じます。

―　本村市長　―

（全体の感想、今後の市の取組の方向など）

ありがとうございました。

司会／小島副代表

それでは、閉会を髙野副代表にお願いいたします。

６　閉　会

１９：３０

閉会／髙野副代表

本日は、長時間にわたり、懇談いただき、ありがとうございました。

それでは、これをもちまして　城山地区　まちづくりを考える懇談会

「地域の未来を語ろうwith市長」を終了いたします。

以　上

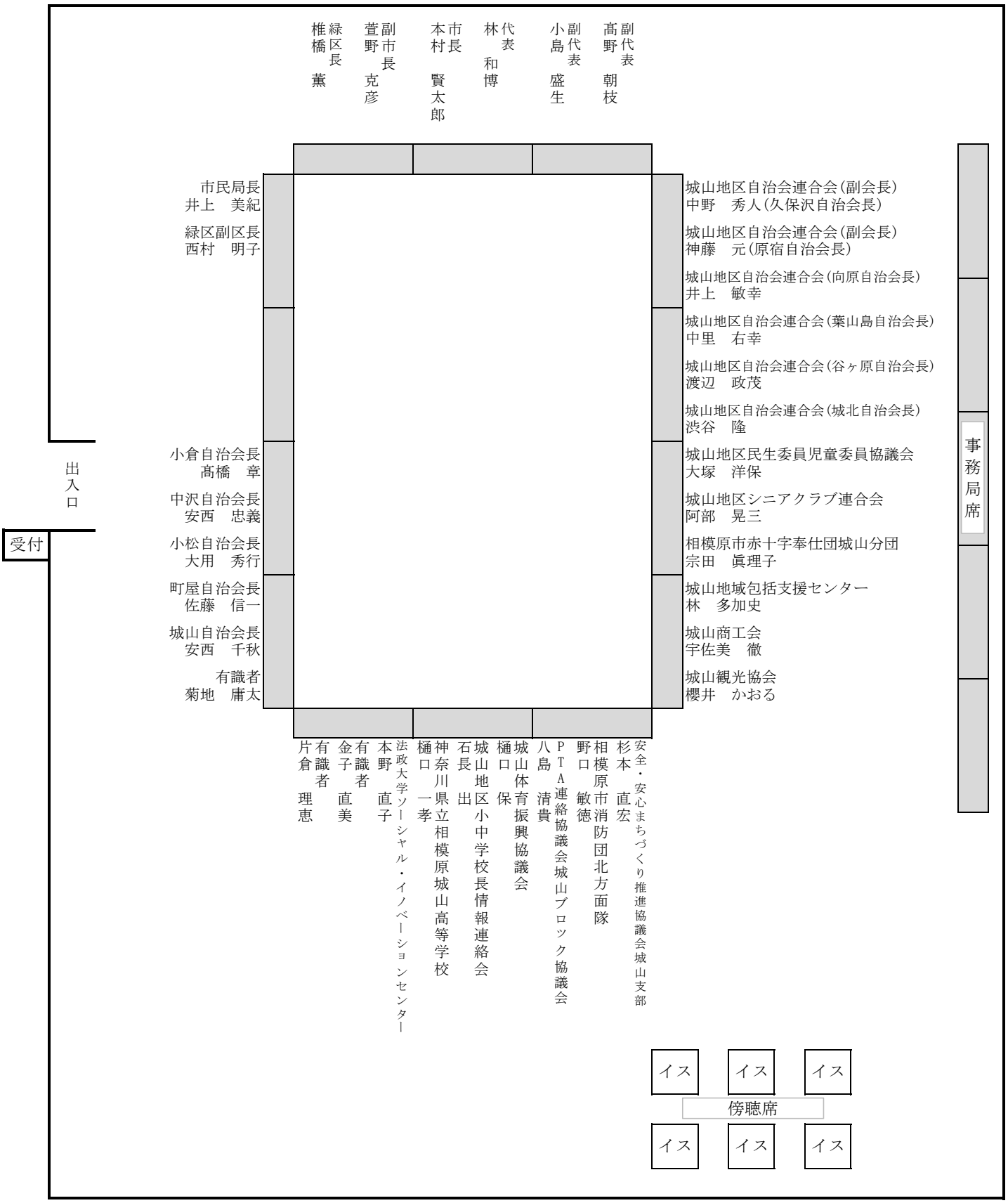
令和8年度　城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろうwith市長」出席者名簿

資料７

番号	区分	分野	団体名	役職等	出席者氏名
1	まちづくり会議	地域関係	城山地区自治会連合会（会長）	代表	林（ハヤシ）　和博（カズヒロ）
2			城山地区自治会連合会（副会長）		中野（ナカノ）　秀人（ヒデト）
3			城山地区自治会連合会（副会長）		神藤（カンドウ）　元（ハジメ）
4			城山地区自治会連合会（川尻小学校区）		井上（イノウエ）　敏幸（トシユキ）
5			城山地区自治会連合会（湘南小学校区）		中里（ナカザト）　右幸（ミギユキ）
6			城山地区自治会連合会（広陵小学校区）		渡辺（ワタナベ）　政茂（マサシゲ）
7			城山地区自治会連合会（広田小学校区）		渋谷（シブヤ）　隆（タカシ）
8		保健福祉関係	城山地区社会福祉協議会	副代表	小島（コジマ）　盛生（モリオ）
9			城山地区民生委員児童委員協議会		大塚（オオツカ）　洋保（ヒロヤス）
10			城山地区シニアクラブ連合会		阿部（アベ）　晃三（コウゾウ）
11			相模原市赤十字奉仕団城山分団		宗田（ソウダ）　眞理子（マリコ）
12			城山地域包括支援センター		林（ハヤシ）　多加史（タカシ）
13		産業経済関係	城山商工会		宇佐美（ウサミ）　徹（トオル）
14			城山観光協会		櫻井（サクライ）　かおる
15		防犯・防災関係	安全・安心まちづくり推進協議会城山支部		杉本（スギモト）　直宏（ナオヒロ）
16			相模原市消防団北方面隊		野口（ノグチ）　敏徳（トシノリ）
17		教育関係	城山公民館運営協議会	副代表	髙野（タカノ）　朝枝（アサエ）
18			PTA連絡協議会城山ブロック協議会		八島（ヤシマ）　清貴（キヨタカ）
19			城山体育振興協議会		樋口（ヒグチ）　保（タモツ）
20			城山地区小中学校長情報連絡会		石長（イシナガ）　出（イズル）
21			神奈川県立相模原城山高等学校		樋口（ヒグチ）　一孝（カズタカ）
22			法政大学　ソーシャル・イノベーションセンター		本野（モトノ）　直子（ナオコ）
23		有識者			金子（カネコ）　直美（ナオミ）
24					片倉（カタクラ）　理恵（リエ）
25					菊地（キクチ）　庸太（ヨウタ）
26	自　治　会	城山自治会（会長）			安西（アンザイ）　千秋（チアキ）
27		町屋自治会（会長）			佐藤（サトウ）　信一（シンイチ）
28		小松自治会（会長）			大用（オオヨウ）　秀行（ヒデユキ）
29		中沢自治会（会長）			安西（アンザイ）　忠義（タダヨシ）
30		小倉自治会（会長）			髙橋（タカハシ）　章（アキラ）

令和８年度城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろうwith市長」座席表（予定）

資料８



資料９

グループＡ検討内容（７月会議）

≪　主な意見　≫

＜各団体ができること＞

・いろんな団体がそれぞれの活動内容を子どもに教えることで、自分の居場所となる活動が見つかるかもしれない。
・高齢者や障害者と関わる中では、ひきこもりの方がいればサロンやフリースクール等の情報を戸別訪問の際に伝え、なるべく外と関わりを持ってもらえるよう働きかけている。

＜課題（必要とされる支援）＞

・城山地区の住民に、必要な「居場所」のアンケートを取り、ニーズを把握した上で今後の方向性を決めた方が良い。そのニーズに対して、既存の居場所を活用して応えられるものなのか、新たな居場所を新設しないといけないのか、具体的な話が進むと思う。
・自分の体験で話をすると、子どもの頃いじめに遭っていた時に、状況が好転したきっかけは中学校の部活動だった。学校の先生に勧められて部活動に入り、そこが自分の居場所になり、関係性が広がっていった経験があるので、周りの大人のアドバイスは重要だと思う。
・居場所がなくて困っている人たちは、自分で居場所を探すことができないので、自分がどの居場所を必要としているかも答えられない。課題を見つけて居場所づくりをしている人たちはニーズを把握しているので、その層をターゲットにアンケートを取ることが必要だと思う。
・どの居場所が自分にとって必要かも分からない人たちに対しては、様々な居場所の情報を提供してあげることは可能だと思う。それで救われる人もいると思う。
・居場所づくりを実際にしている、ニーズを把握している団体の立場で言うと、アンケートに答えるのはなかなか難しい。相談があって訪問をしたり、地域の人の情報提供で訪問をする等、限られたケースしか扱うことができないため、一部のニーズを把握しているにすぎない状態である。
・子どもたちからは、身体を動かすことができる広い公園が欲しいという声が多い。ボール遊び禁止の公園ばかりで、子ども居場所を奪っている一つの要因だと考えられる。
・ニーズを把握するためのアンケートについては、どのようなターゲットにどのような内容で行うのか、検討が必要である。

グループＢ討議（７月会議）　　テーマ：「居場所をつくること」から『〇〇な居場所を実現すること』へ

討議内容：今ある活動から広がる、みんなの居場所づくり《各団体ができること》や《課題（必要とされる支援）》を洗い出してください。

《各団体ができること》

公民館　・中庭や玄関のフリースペース等では、テーブルやイス等を設置しコミュニケーションが図れる場所として活用している。
・公民館祭りでは、地域の人々の交流の場としての機能を果たしている。

商工会　・八幡様の近くに個人で子どもの居場所的なお店をオープン。タウンニュースやインスタで紹介（若葉台の方）

大　学　・「ハッピーハンド」と「しろやまふれんず」が連携しそう。子ども食堂へのアクセスはある程度数もあり、子ども達は行き慣れていくうちに、不登校の子へも届くのではないか。

《課題（必要とされる支援）

- サークル活動は、同じ目的をもった人の集まりなので、自由参加することが難しい（横断的な居場所ではない）
- イベント開催を**周知することが難しい**。チラシを配付しても、なかなか人が集まらなかったり応募が少なかったりする。
- シニアクラブ　・後継者不足　地区ごとに固まってしまい、顔ぶれが固定している。
  多世代での交流が難しい。　町づくり会議がハブ！
- **移動手段がない**⇒移動支援社協や包括支援センターに相談してみては？
- 学校に登校できている子へのサポート体制はある。学校へ来られない子は、親次第になっている。他校との交流会
- 地域の方が学校に入る機会が減った。定期的になれば・・・「場」より「機会」の創出　顔の繋がり　総合的な学習の時間への参加を通して。
- 不登校の子への関りは慎重にすべき。
- 「わいわい田名」のようなスペースがほしい。
- 居場所の対象は？子どもだけでなく、定年後の方の居場所も必要との声もある。また、子育ての悩みがある人や誰かと話したい人など。
- 情報が届いているか？
  今ある居場所を必要な人に選んでもらうためにも、自治会回覧等により情報を流していく。（現状、選択できるまでの情報がない）
- PTA へのアクセスを検討。
- **１１/２９（日）の湘南小モルックからスタートしよう。**

資料１０